

お施主様向け取扱説明書

使い方&お手入れ
ガイドブック
プラマードU編

《お願い》

YKK AP 商品を長く安全にお使いいただくために、
ご使用前によくお読みいただき、大切に保管ください。

販売店・工務店・建築会社の皆様へ
この取扱説明書は施工後、お施主様へ必ずお渡してください。

第1章
安全にお使い
いただくために

第2章
商品の見分け方

第3章
使い方

第4章
お手入れ

第5章
困った時には

第6章
保守点検

第7章
保証について

用語集
索引

使い方 & お手入れガイドブックについて

このたびは YKK AP 商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。

商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。
商品によっては、本書に掲載されていない場合がありますので、当社ホームページの情報も併せてご利用ください。

■YKK AP 株式会社 ホームページ

<http://www.ykkap.co.jp>

■お客様 サポート

YKK APへのお問い合わせや商品の使い方、お手入れなどを紹介しています。

<http://www.ykkap.co.jp/support/>

■安全・安心、快適のポイント

日常生活の中で注意していただきたいポイントを紹介しています。

<http://www.ykkap.co.jp/support/safety/>

■使い方&お手入れガイド

YKK AP商品の取り扱い情報を幅広く紹介しています。

<http://www.ykkap.co.jp/support/care/>

■WEB カタログ

当社の商品カタログ、ユーザーマニュアル（ガイドブック）を紹介しています。

<http://webcatalog.ykkap.co.jp>

本書で解説している主な商品

・内窓

「使い方&お手入れガイドブック」の種類

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 窓・ドア 編 | <input type="checkbox"/> APW430 編 |
| <input type="checkbox"/> プラマードH 編 | <input type="checkbox"/> APW330 編 |
| <input checked="" type="checkbox"/> プラマードU 編 (本書) | <input type="checkbox"/> APW230 編 |
| <input type="checkbox"/> エコ内窓 Lite U 編 | (全 12 種) |
| <input type="checkbox"/> インテリア建材 編 | |
| <input type="checkbox"/> ウォールエクステリア 編 | |
| <input type="checkbox"/> ガーデンエクステリア 編 | |
| <input type="checkbox"/> 外装建材 編 | |
| <input type="checkbox"/> 耐震補強フレーム 編 | |

本書に掲載されていない商品やシリーズについては、別冊の「使い方&お手入れガイドブック」をご確認ください。

その他、各商品の「取扱説明書」や、商品に貼付されている「ラベル」も併せてご覧ください。

本書の読み方

知りたい説明の探し方

お使いの商品の種類を調べる	P.13
→ 使い方を知るには	P.15
→ お手入れ方法を知るには	P.29
→ 困った時には	P.57
→ 目的から探すには	P.73

本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をご使用ください。

■危険／警告／注意／お願い

表示	意味
 危険	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いと想定される。
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される。
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される。
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報。

■記号

記号	意味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

本書の読み方	P.1
もくじ	P.2
第1章 安全にお使いいただくために	P.3
安全上のご注意	P.4
ご使用にあたって	P.9
知っていただきたい現象	P.10
第2章 商品の見分け方	P.13
写真やイラストから商品の種類を調べる	P.14
第3章 使い方	P.15
窓 引違い窓	P.16
内開き窓	P.23
開き窓テラス	P.26
第4章 お手入れ	P.29
お手入れ時の注意事項	P.30
お手入れ方法	P.31
窓 引違い窓	P.33
FIX窓	P.45
内開き窓	P.49
開き窓テラス	P.54
第5章 困った時には	P.57
窓 引違い窓	P.58
FIX窓	P.60
内開き窓・開き窓テラス	P.61
第6章 保守点検	P.63
お手入れ・点検のポイント	P.64
保守点検項目	P.66
第7章 保証について	P.67
商品の保証について	P.68
複層ガラスの保証について	P.70
用語集	P.72
索引	P.73

第1章 安全にお使いいただくために

この章では、商品を長く安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項について説明しています。

安全上のご注意	P.4
ご使用にあたって	P.9
知っていただきたい現象	P.10

安全上のご注意

第1章

安全にお使いいただくために

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。
個々の商品の注意事項は、各商品の説明ページにも記載されていますので、併せてご確認ください。

窓についての注意事項

⚠ 警告



[強制]

内窓をご使用の際は、適度に換気を行ってください。
特に、ガスや石油機器をご使用になる場合は、必ず換気を行ってください。
内窓を設置すると、気密性が高まり、空気が滞留するため、締め切った状態でご使用になると、一酸化中毒など、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



[強制]

はずれ止めが正しくセットされていることを確認してください。
はずれ止めが正しくセットされていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

引違い窓や FIX 窓は定期的に点検し、窓上部に赤色表示が見えないことを確認してください。
赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓にぶつかったり、寄りかかったり、無理な力をかけたりしないでください。
窓の破損や落下により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドルなどにぶらさがって遊ばないでください。
ハンドルなどが破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。



[強制]

窓の表面や金属部分は、直射日光で熱くなることがあります。
やけどなどしないようご注意ください。

お願い

必ず外窓を閉めて施錠したうえで、内窓を閉めてください。
外窓を開けたまま内窓を閉めると、雨水の浸入や、風圧などにより内窓が変形したり、破損したりするおそれがあります。

マンションなどの高層階では、強風時には必ず外窓を閉めて内窓を少し開けてください。
強風により住戸内外に圧力差が生じた場合、内窓が変形したり、破損したりするおそれがあります。
長期不在時も同様に、外窓を閉めて内窓を少し開けてください。

窓の近くを通る時は、開いている窓や部品にぶつからないようご注意ください。
窓の破損につながるおそれがあります。

外出や就寝の際は、必ず窓を閉め、確実にロックしてください。
ロック後、窓が開かないことを確認してください。

窓の開閉時の注意事項

⚠ 注意

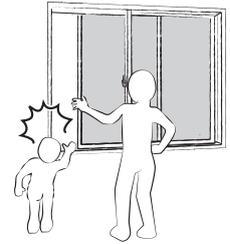
窓 スライド系 (引違い窓)



[強制]

周囲に人がいないことを確認

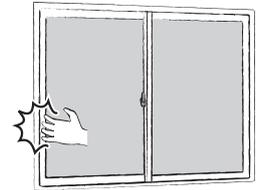
窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓が人にぶつかったり、窓で指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓と枠、窓と窓のすき間に注意

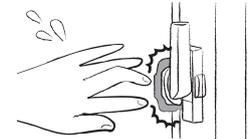
窓の開閉時に、窓と枠、窓と窓のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

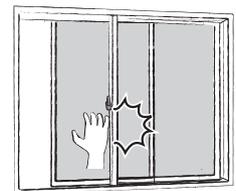
窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

引手以外の部位を持って開閉しない

窓の開閉は、必ず引手を持ってゆっくり操作してください。引手以外を持って操作すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



⚠️ 注意

窓 スイング系（内開き窓・開き窓テラス）



[強制]

周囲に人がいないことを確認

窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓が人にぶつかったり、窓で指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓と枠のすき間に注意

窓の開閉時に、窓と枠のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

窓の開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



お願い

窓の開閉時に、誤って室外に転落しないようご注意ください。

窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。

無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような（乱暴な）開閉をすると、窓を破損するおそれがあります。

窓の調整・お手入れ時の注意事項

⚠ 警告



[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様か飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 注意



[強制]

お手入れなどで、窓をはずして再び取り付ける際は、必ずはずれ止めをセットしてください。
正しくセットされていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。
窓にぶつかり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

お手入れ時に、誤って室外に転落しないようご注意ください。

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

調整やお手入れ時に、誤って窓を倒したり、落下させたりしないようご注意ください。

調整やお手入れ時に、指や手をはさんだり、巻き込まれたり、窓の端部や部品の角に手をぶついたりしないようご注意ください。

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

ご使用にあたって

商品を長く正常な状態でご使用いただくために、日常生活の中で気をつけていただきたい事項です。

●窓の点検について

長期間、窓をご使用になると、ネジのゆるみが発生することがあります。お手入れの際、商品のネジ部品がはずれたり、ゆるんだりしていないことを点検してください。

(→ P.63「第6章 保守点検」)

知っていただきたい現象

第1章

安全にお使いいただくために

日常生活の中で『何かおかしいな…』と覚めることがある現象も、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

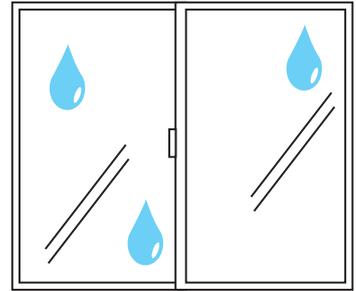
結露について

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合、季節を問わず発生します。

これは自然現象のひとつであり、窓の不具合ではありません。

また、室内の環境状況によっては、断熱窓を使用していても発生する場合があります。

完全になくすことはできませんが、できるだけ発生を抑える方法として下記の点を心がけてください。



- ① 過度な加湿の防止（上限 60%）
- ② 換気の促進
- ③ 室温は適温に保つ
- ④ 空気の流れをよくする

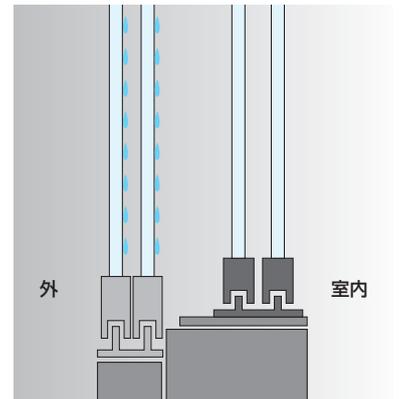
『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。

ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡ください。（☎ 0120-20-4134）

外窓（既設サッシ）の結露について

内窓を付けても、外窓（既設サッシ）に結露が発生することがあります。内窓の防露性は、内窓の結露を大きく減少させる効果がありますが、外窓（既設サッシ）への結露が発生しやすい条件もあわせてあります。室内の暖かい熱が内窓に遮断されるため、外部に熱が伝わりにくく、外窓（既設サッシ）の表面温度が下がるなど、結露が発生しやすい条件になるためです。

※結露は自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。



内窓と外窓の間の温度上昇について

内窓と外窓を長時間閉めた状態にしておくと、外部環境によっては内窓と外窓の間の空間が高温になる場合があります。少し開けて換気を行ってください。

※内窓と外窓の間の空間が高温になることで起こりうる現象

- ① 樹脂材の変形・収縮
- ② 樹脂材の変色（熱+直射日光による）
- ③ ガラスの熱割れ（特に外窓が網入りガラスの場合）

ガラスの熱割れについて

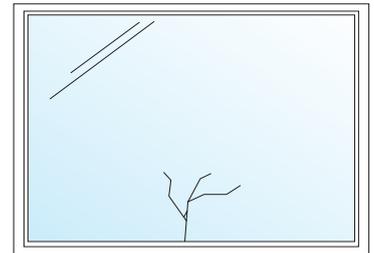
ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。
この熱膨張差がガラスの持っている「強度」を超えた場合、ガラスが割れます。
これが網入りガラスに多く見られる「熱割れ」と呼ばれる現象です。
ガラスに割れが発生した場合、すみやかに交換してください。

熱割れを予防するポイント

- ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
- 暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
- ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
- 室内に熱だまりをつくらない。

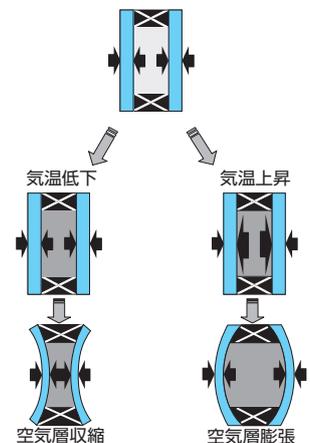
複層ガラスの亀裂について

複層ガラスは、硬いものなどの衝撃、飛来物などの外力によってできるキズや、ごくまれにガラス中に残存する不純物に起因するキズにより、突然亀裂が入る場合があります。
商品ご使用の際は、ガラス面にキズなどがつかないようにご注意ください。
ガラスに亀裂が発生した場合は、すみやかに交換してください。
キズがついてしまった場合は、お早めにもずお取り扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。



複層ガラスのゆがみについて

複層ガラス表面に反射して写る映像がゆがんで見えることがありますが、複層ガラスの構造上さけられない現象です。
複層ガラスの中空層は密閉された構造のため、温度や気圧の変化などによって内部の空気の収縮や膨張が起こります。これにより、ガラスが湾曲しガラスの表面に反射して写る映像がゆがんで見えます。特に Low-E 複層ガラスでは反射率が高いため、ゆがみが目立つことがあります。



格子入複層ガラスの音鳴りについて

格子入り複層ガラスは、窓の開閉時の衝撃や振動などにより、複層ガラス内の格子が一時的に振動することで、格子とガラスが接触し、音を発することがあります。

樹脂製商品への殺虫剤などの薬剤散布によるひび割れ、はがれについて

薬剤が樹脂表面に付着すると、ひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

ひび割れ・はがれを予防するポイント

- 殺虫剤などの薬剤を樹脂表面に塗布・散布・付着させないように注意する。

第2章 商品の見分け方

もくじから商品や必要な説明を探すには、お使いの商品の種類を知る必要があります。この章では、商品の外観の写真やイラストからお使いの商品の種類を調べる方法を説明します。

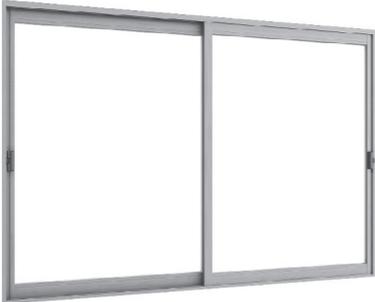
写真やイラストから商品の種類を調べる P.14

写真やイラストから商品の種類を調べる

窓の種類

第2章

商品の見分け方

引違い窓	FIX窓	内開き窓
左右の窓をスライドさせて開閉します。	開閉できない窓です。	室内側に引いて開閉します。
		
<ul style="list-style-type: none">→使い方 P.16→調整・お手入れ P.33→困った時には P.58	<ul style="list-style-type: none">→調整・お手入れ P.45→困った時には P.60	<ul style="list-style-type: none">→使い方 P.23→調整・お手入れ P.49→困った時には P.61

開き窓テラス
テラスやバルコニーに使われる開き式の窓です。

<ul style="list-style-type: none">→使い方 P.26→調整・お手入れ P.54→困った時には P.61

第3章 使い方

この章では、商品の開閉やロックの方法など、日常的な使い方について説明しています。

窓	引違い窓.....	P.16
	内開き窓.....	P.23
	開き窓テラス.....	P.26

引違い窓

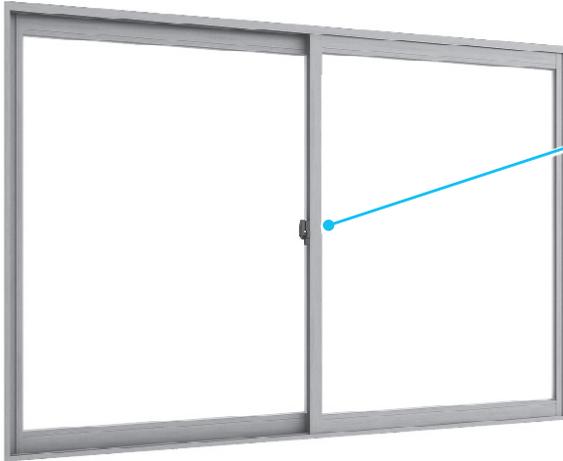
ご使用前に確認してください

●必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

●お手入れ方法についてはP.33を参照してください。

■各部の名称

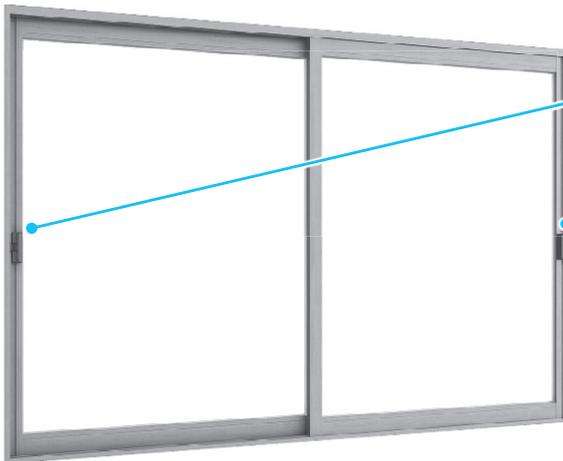
●引違い窓（クレセント）



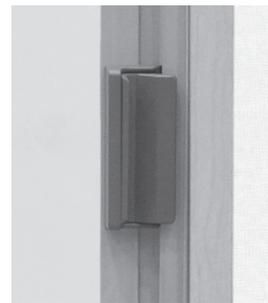
クレセント



●引違い窓（戸先錠）



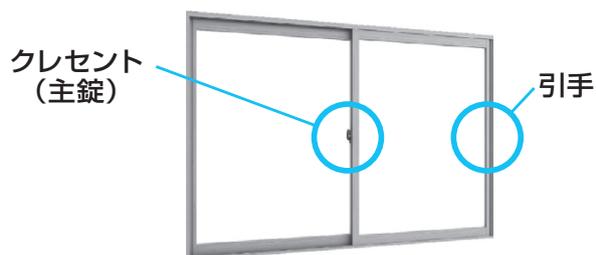
戸先錠 窓タイプ



戸先錠 テラスタイプ



窓の開け方（クレセント）



1 クレセントを解錠する

クレセントロックを上げ、
ノブを下にまわします。

- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。



2 窓を開ける

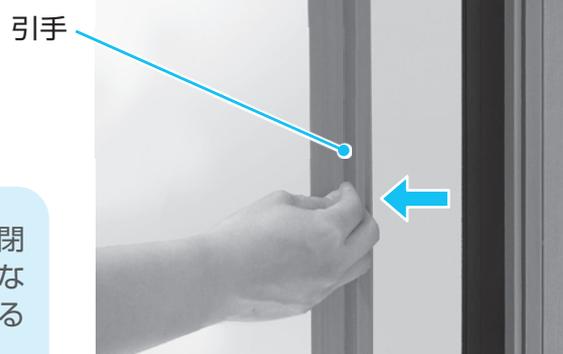
引手に指をかけ、静かに開けたい
位置までスライドさせます。

⚠ 注意

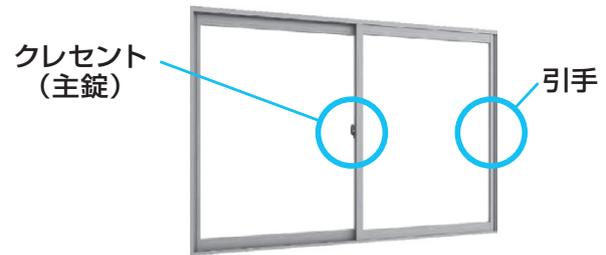
- 引手以外の部位を持って窓を開閉しないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

- 引手の中央付近に指をかけて開閉してください。極端に上部や下部を持って開閉すると、窓がスムーズに開閉できなくなるおそれがあります。



窓の閉め方 (クレセント)



1 窓を閉める

引手に指をかけ、最後まで閉めます。

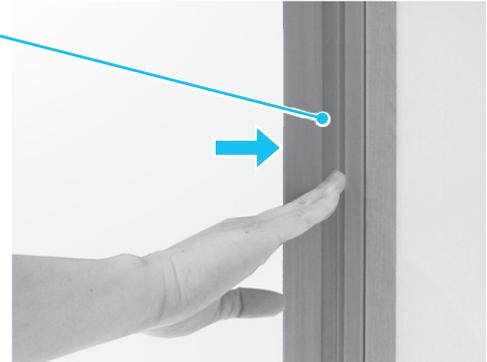
⚠ 注意

- 引手以外の部位を持って窓を開閉しないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

- 引手の中央付近に指をかけて開閉してください。極端に上部や下部を持って開閉すると、窓がスムーズに開閉できなくなるおそれがあります。

引手



2 クレセントをロックする

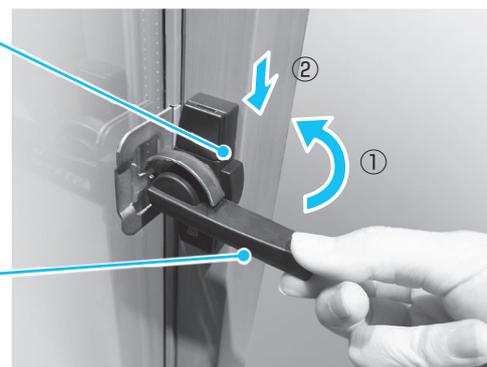
ノブを上にもわし、クレセントロックを下げます。

※クレセントには空掛け防止機能があり、窓がしっかり閉まっていないとまわりません。

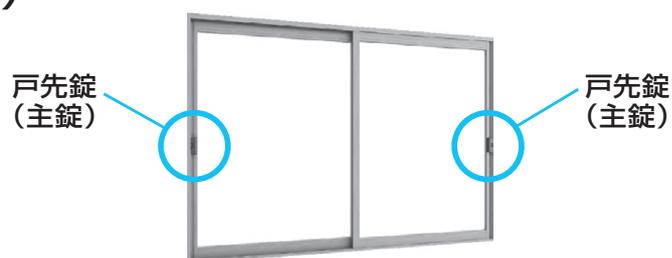
- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。

クレセント
ロック

ノブ



窓の開け方（戸先錠 窓タイプ）

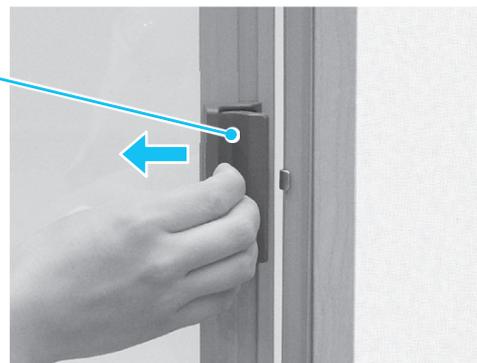


1 戸先錠を解錠し窓を開ける

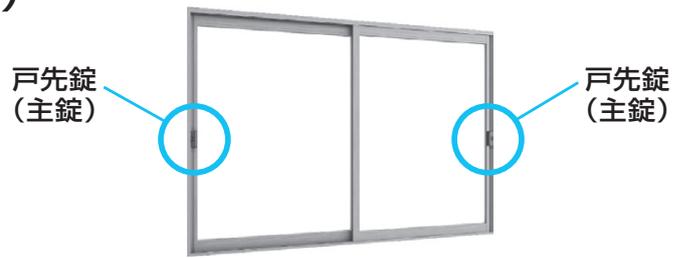
戸先錠のレバーに指をかけ、そのまま静かに開けたい位置までスライドさせます。

※ロックが解除されます。

レバー部



窓の閉め方（戸先錠 窓タイプ）

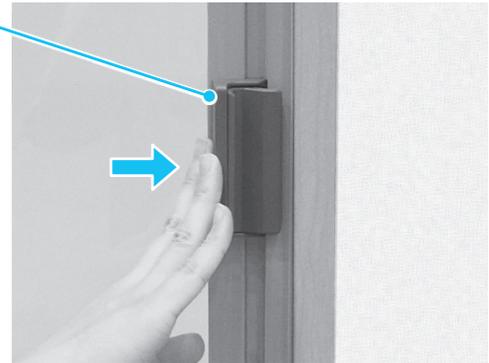


1 窓を閉める

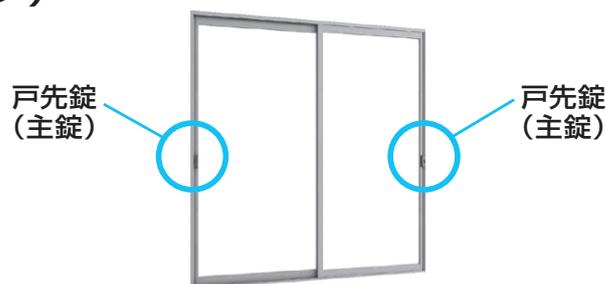
戸先錠の引手部に指をかけ、窓を最後まで閉めます。
戸先錠以外の部分を持って、窓が開かないことを確認します。

※窓タイプの戸先錠は、窓を閉めると自動的に施錠されます。室外側から開けることはできません。

引手部



窓の開け方（戸先錠 テラストタイプ）

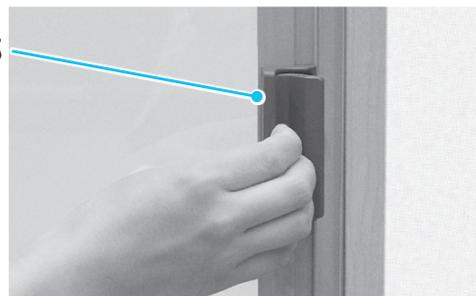


1 戸先錠を解錠する

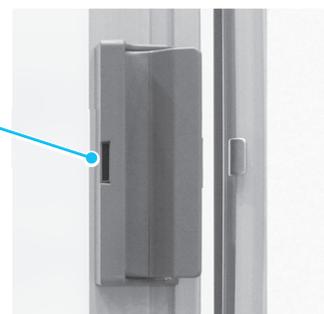
戸先錠のレバー部をつまんで解錠します。

※ロックが解除され引手部の表示が「赤色」になります。

レバー部



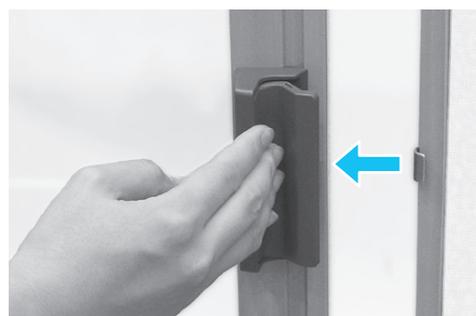
赤色表示



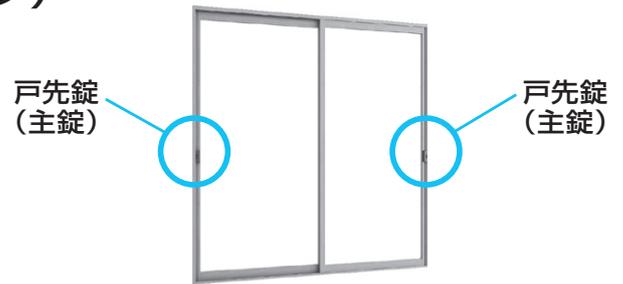
解錠状態

2 窓を開ける

戸先錠のレバーに指をかけたまま静かに開けたい位置までスライドさせます。



窓の閉め方（戸先錠 テラスタイプ）

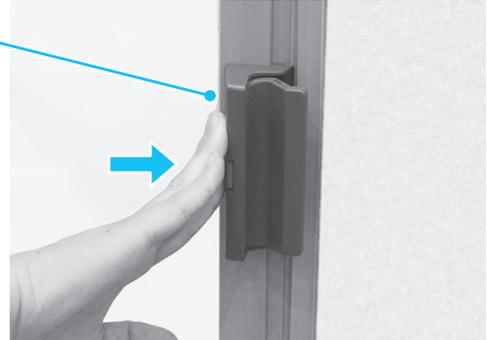


1 窓を閉める

戸先錠の引手部に指をかけ、窓を最後まで閉めます。

※テラスタイプの戸先錠は、窓を閉めても自動的に施錠はされません。

引手部



2 戸先錠をロックする

戸先錠のレバー部を押して施錠します。戸先錠以外の部分を持って、窓が開かないことを確認します。

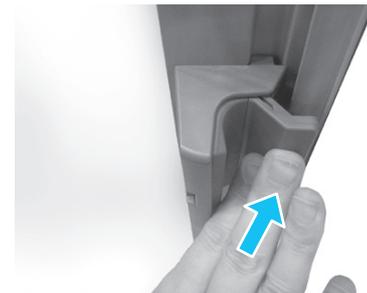
※窓がしっかり閉まっていないと施錠できません。

※施錠されると引手部の「赤色表示」が見えなくなります。

レバー部



赤色表示



内開き窓

ご使用前に確認してください

●必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

●お手入れ方法についてはP.49を参照してください。

■各部の名称

アームストッパー
(オプション)

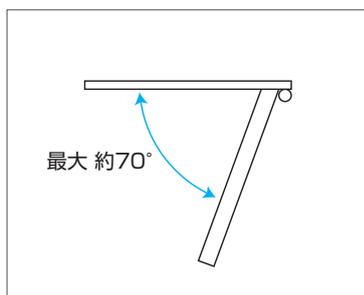


カムラッチハンドル
(錠)

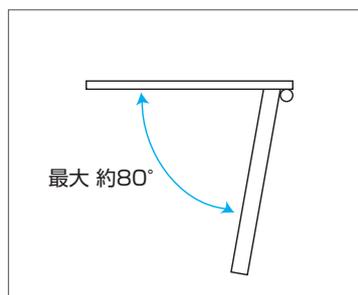


アームストッパーが付いている場合、窓の開き角度は90°です。
ただし、窓の幅や仕様によって、窓の開く角度は異なります。

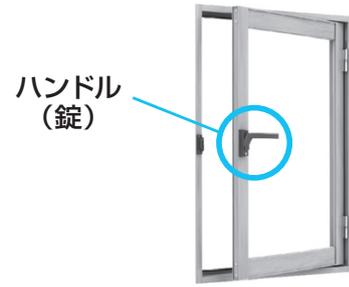
350mm≤横幅<400mm
の場合。



北海道エリア 溶着タイプ
400mm≤横幅<500mm場合。



窓の開け方



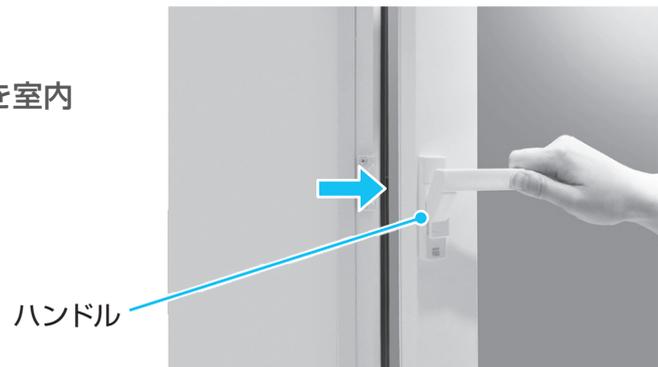
1 ハンドルをまわして解錠する

ハンドルを上にも90°まわして解錠します。(ハンドルがヨコの状態)

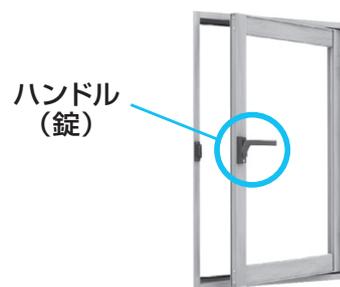


2 窓を開ける

ハンドルをヨコにしたまま、窓を室内側に引いて開けます。



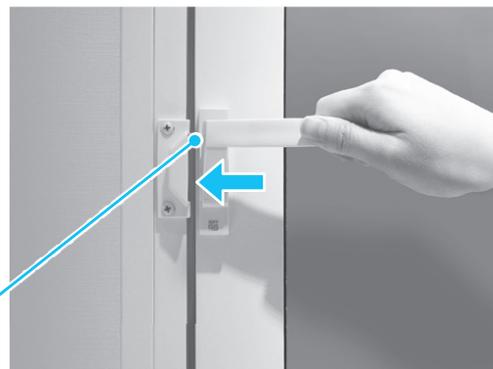
窓の閉め方



1 窓を閉める

ハンドルをヨコにしたまま、窓を室外側に押して閉めます。

ハンドル

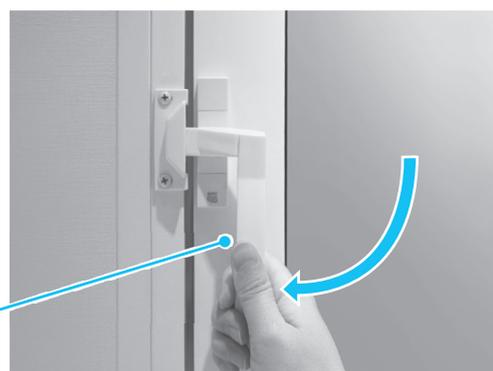


2 ハンドルをまわして施錠する

ハンドルを下に90°まわして施錠します。(ハンドルがタテの状態)

※窓が開かないことを確認します。

ハンドル



開き窓テラス

ご使用前に確認してください

●必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

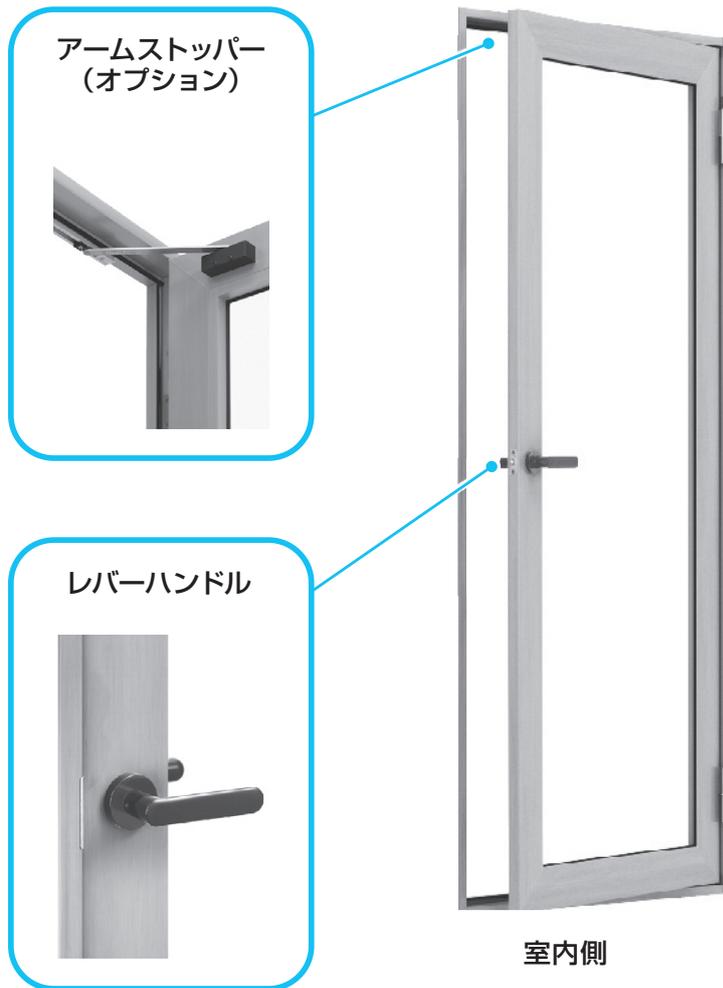
●お手入れ方法はP.54を参照してください。

第3章

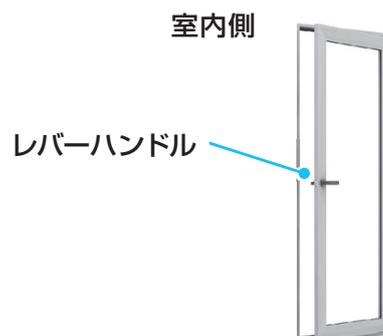
窓

使い方

■各部の名称



窓の開け方



1 窓を開ける

レバーハンドルを下にまわし、窓を室内側に引いて開けます。

※ ラッチが解除されます。

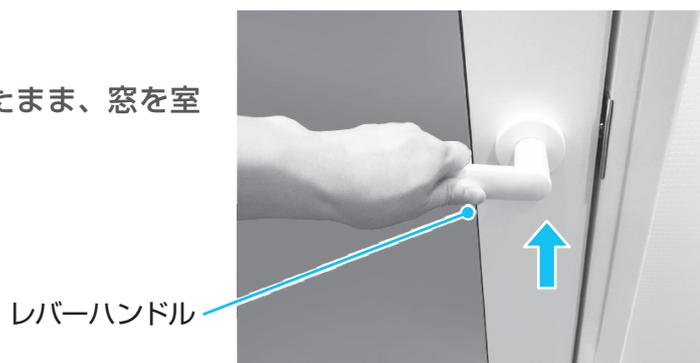


窓の閉め方

1 窓を閉める

レバーハンドルをヨコにしたまま、窓を室外側に押して閉めます。

※ ラッチがかかります。



《メモ》

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 20 lines.

第4章 お手入れ

この章では、商品のお手入れ方法や調整について説明しています。
商品を安全に長くお使いいただくためには、日ごろのお手入れが大切になります。
商品のメンテナンスのご要望は、当社お客様相談室（☎ 0120-20-4134）
まで、お問い合わせください。

窓

お手入れ時の注意事項	P.30
お手入れ方法	P.31
引違い窓	P.33
FIX 窓	P.45
内開き窓	P.49
開き窓テラス	P.54

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書にしたがってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書にしたがって行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）
を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついてしまった場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店またはお客様相談室にご相談ください。

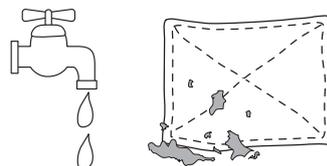
お手入れ方法

樹脂製商品

■通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

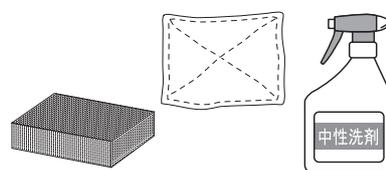
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

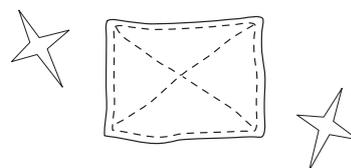
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



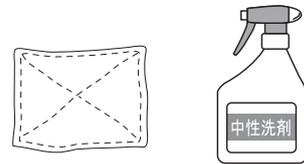
ガラス

- ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について
ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。
これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。
ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ガラスのお手入れ

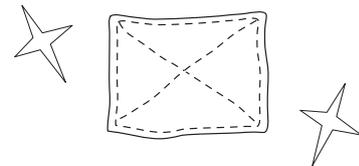
1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ハンドル・引き手

「■通常のお手入れ」（→P.31）を参照してください。

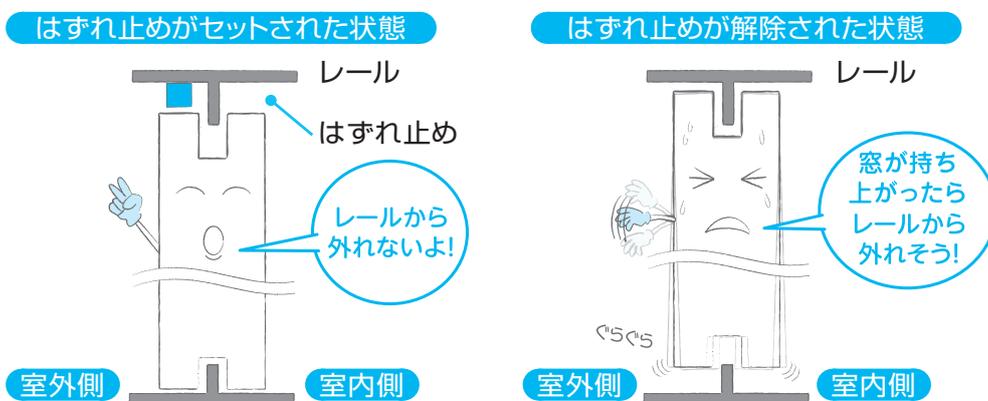
引違い窓

はずれ止めとは

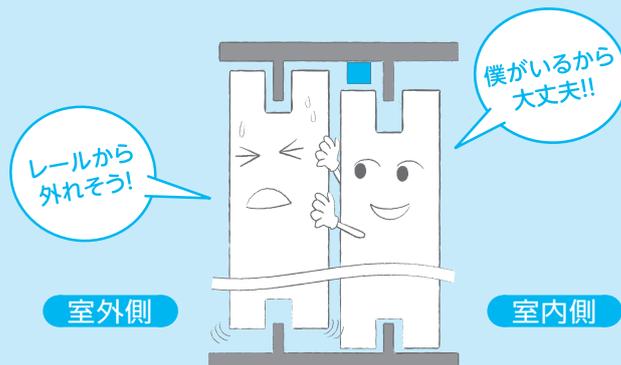
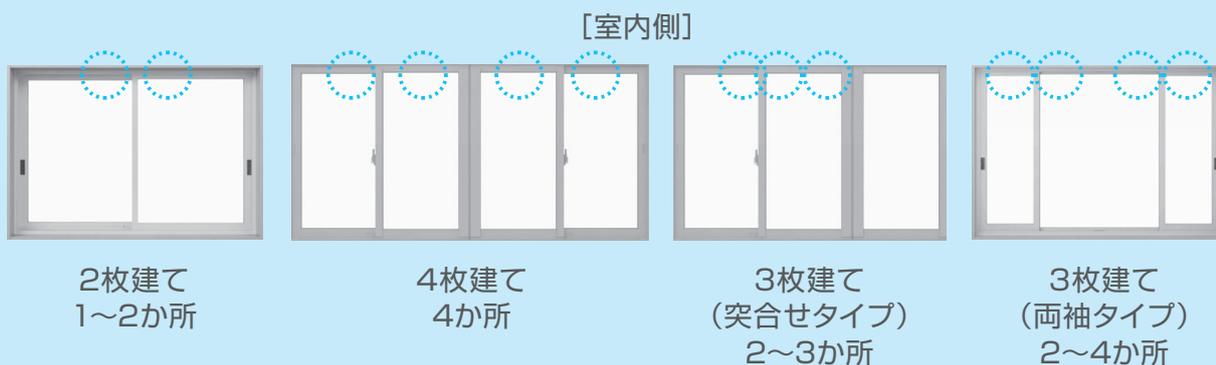
はずれ止めは、窓が持ち上がって脱落、落下するのを防止するための部品です。
窓を取りはずす時以外は、絶対にはずれ止めをはずさないでください。
また、はずれ止めのない位置で窓を持ち上げると、窓がはずれますのでご注意ください。

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



はずれ止めは室内側の窓の上枠にあります。
※窓のタイプや枚数、サイズによって、はずれ止めの数や位置が異なります。
窓に隠れて見えない場合がありますので、窓を開閉して位置を確認してください。



窓の取りはずし方



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

⚠注意

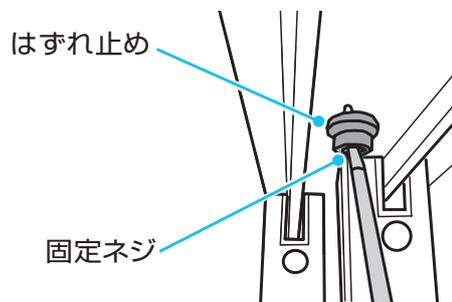
- ガラスの入った窓は重量があります。窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
＜窓重量の例＞
例1) 幅750mm、高さ1500mm、ガラス厚3mm単板ガラスの場合：約10kg
例2) 幅1500mm、高さ1800mm、「3+A12+3mm」の複層ガラスの場合：約40kg

1 はずれ止めを取りはずす

固定ネジをプラスドライバーで反時計回りにまわして、はずれ止めを取りはずします。

※窓サイズによって、はずれ止めの数は異なります。

- はずしたネジや部品は、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。



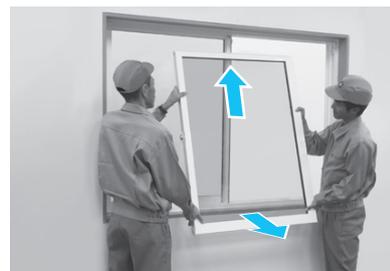
2 窓を取りはずす

内側の窓を持ち上げ、窓の下部を手前に引いて下のレールからはずします。

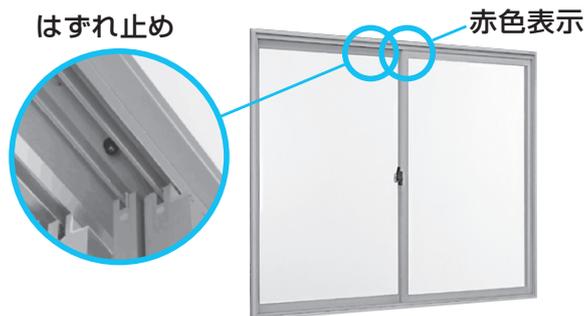
外側の窓も同様に取りはずします

お願い

- 取りはずした窓は、養生された場所に静かに置いてください。乱暴に扱っていると、窓が破損するおそれがあります。



窓の取り付け方



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

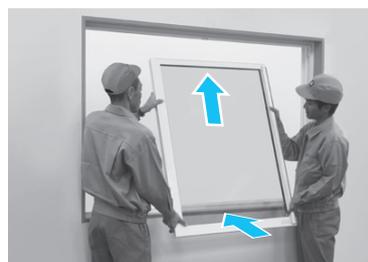
⚠注意

- ガラスの入った窓は重量があります。窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

1 窓を取り付ける

外側の窓の上部を上側のレールにはめ、窓を持ち上げて下のレールにはめ込みます。

内側の窓も同様に取り付けます。

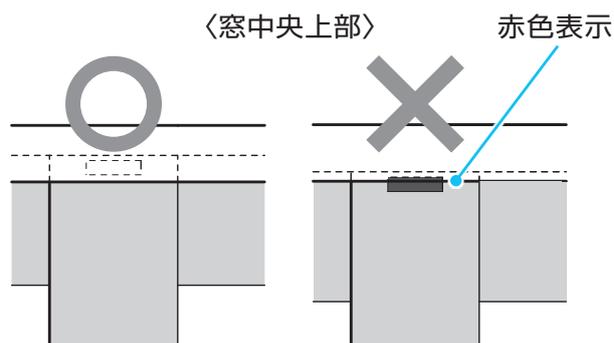


2 赤色表示が見えないことを確認する

⚠注意

- 赤色表示が見えないことを確認してください。赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

(点検方法は→P.66を参照してください)



3 はずれ止めを取り付ける

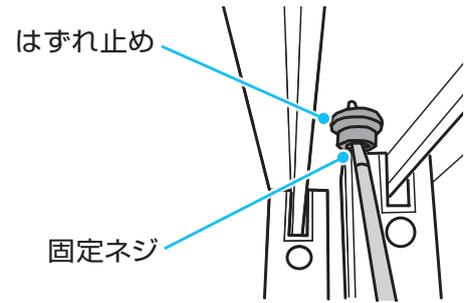
プラスドライバーではずれ止めの固定ネジを時計回りに少しずつまわしてしめます。窓の開閉に支障がないことを確認します。

⚠ 注意

- はずしたはずれ止めは、必ずすべて取り付けてください。はずれ止めが取り付けいていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

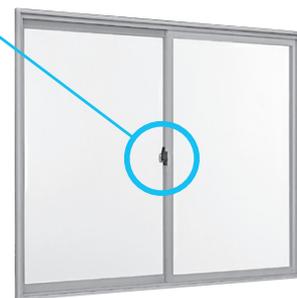
- 固定ネジは強くしめすぎないでください。はずれ止めが破損するおそれがあります。



クレセントの調整方法

クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント本体の位置を上下に調整する方法を説明します。

クレセント
(主錠)

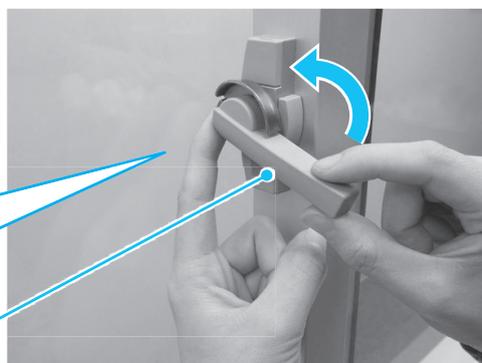
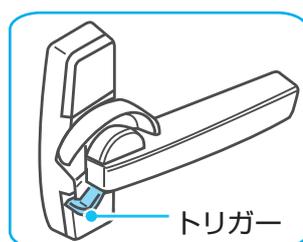


ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

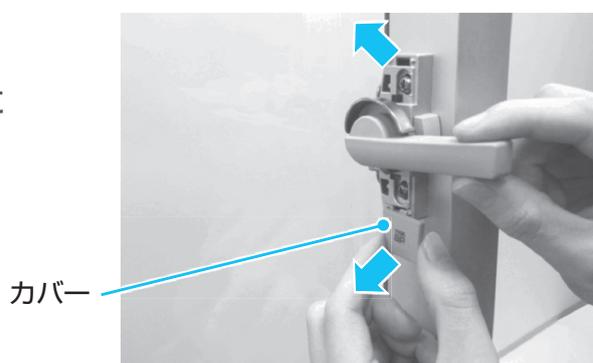
1 クレセントのノブをまわす

トリガーを指で押さえながら、クレセントのノブを中央位置までまわします。



2 カバーをはずす

カバーをはずし、ネジが見える状態にします。

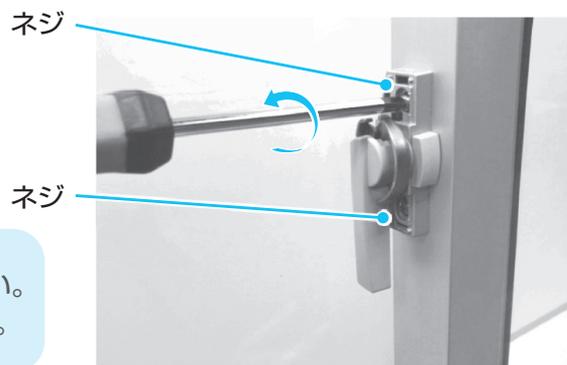


3 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

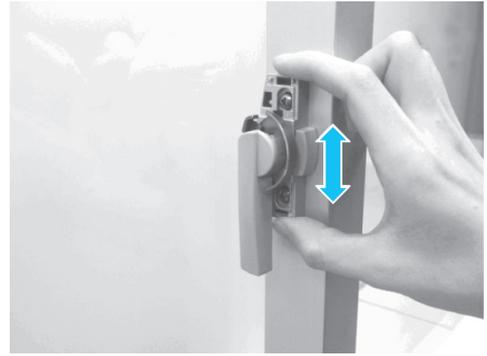
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



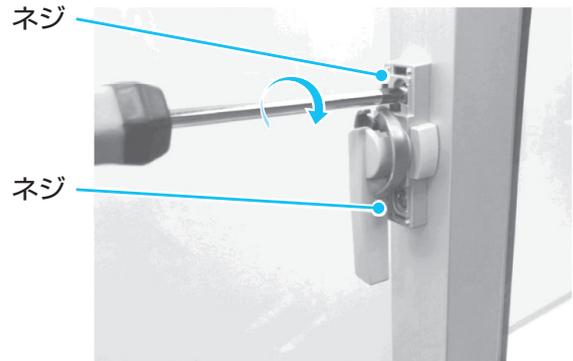
4 クレセントの位置を調整する

クレセントを上下に動かして位置を調整します。

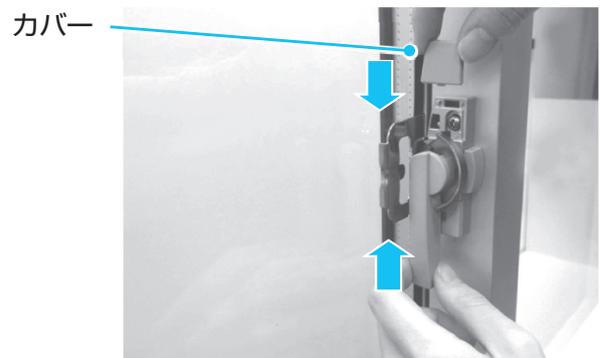


5 ネジをしめる

上下のネジを時計回りにまわしてしめます。



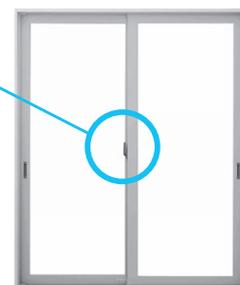
6 カバーを取り付ける



クレセント受けの調整方法

クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント受けの位置を左右に調整する方法を説明します。

クレセント
受け



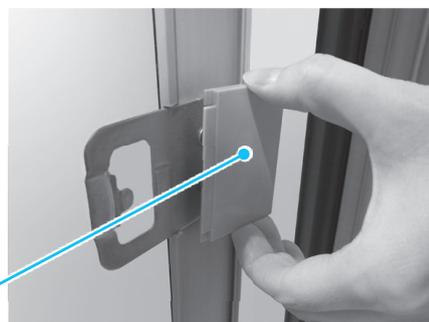
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 クレセント受けカバーをはずす

クレセント受けカバーを上下につまむように持って引っぱり、はずします。

クレセント受けカバー



2 ネジをゆるめる

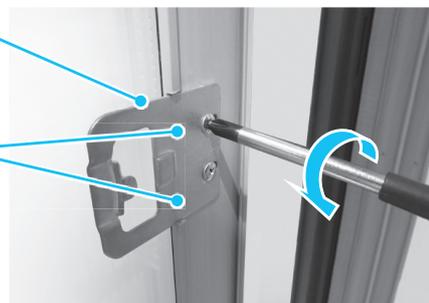
プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

クレセント受け

ネジ

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

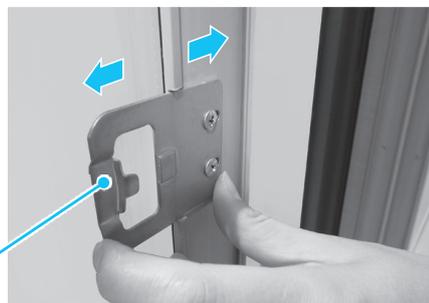


3 クレセント受けの位置を調整する

クレセント受けを左右に動かして位置を調整します。

※動かせる範囲は左右約2mmずつです。

クレセント受け



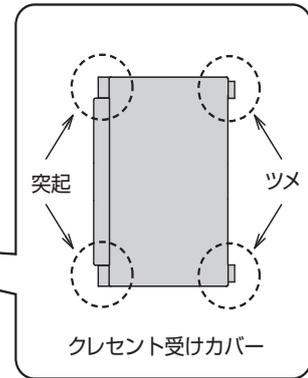
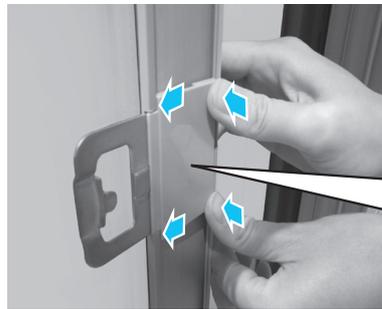
4 ネジをしめる

上下のネジをプラスドライバーで時計回りにまわしてしめます。



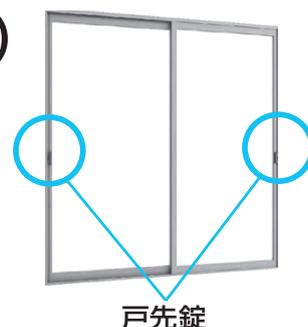
5 クレセント受けカバーを取り付ける

クレセント受けカバーの突起を差し込み、ツメがかかるまで押し込みます。



戸先錠の調整方法 (窓・テラスタイプ共通)

戸先錠をロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、戸先錠本体と戸先錠受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、戸先錠の位置を左右に調整する方法を説明します。

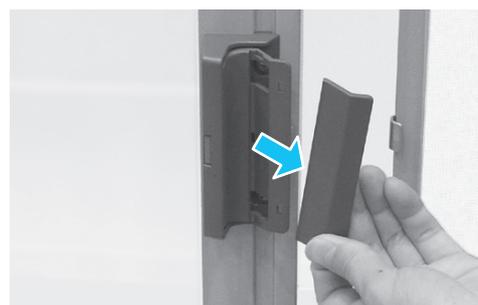
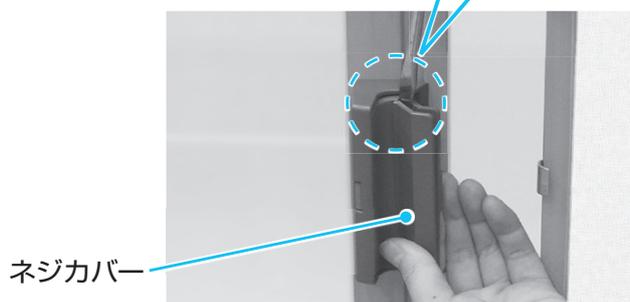
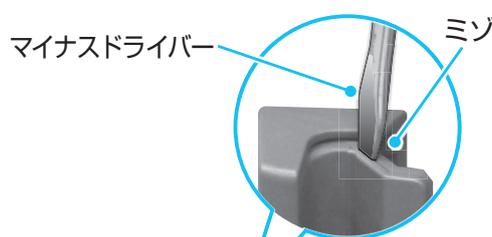


ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 ネジカバーをはずす

窓を5cm程度開けて、戸先錠のネジカバーのミゾにマイナスドライバーを差し込み、ネジカバーをはずします。

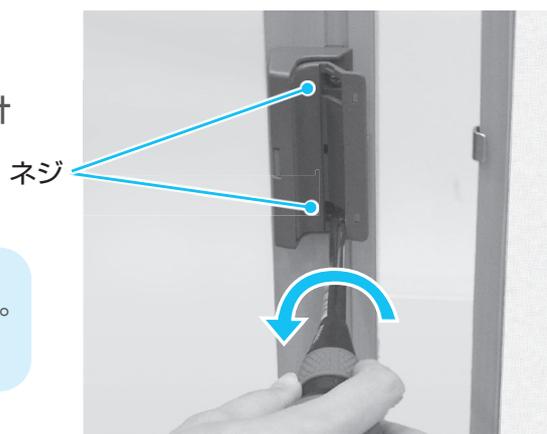


2 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りに1回転まわしてゆるめます。

お願い

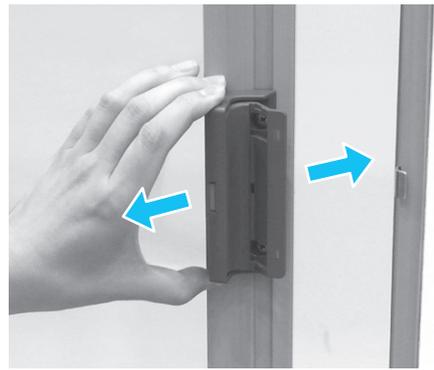
- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



3 戸先錠の位置を調整する

戸先錠を左右に動かして位置を調整します。

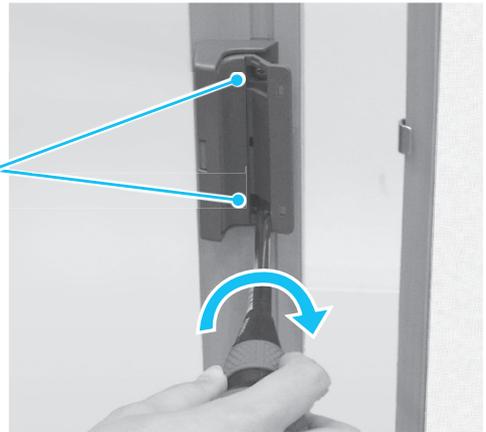
※調整範囲は約2.5mmです。



4 ネジをしめる

上下のネジをプラスドライバーで時計回りにまわしてしめます。

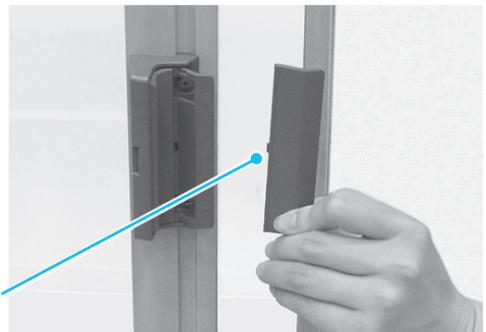
ネジ



5 ネジカバーを取り付ける

ネジカバー中央部の突起を差し込み、レバー部に押し付けて取り付けます。

突起

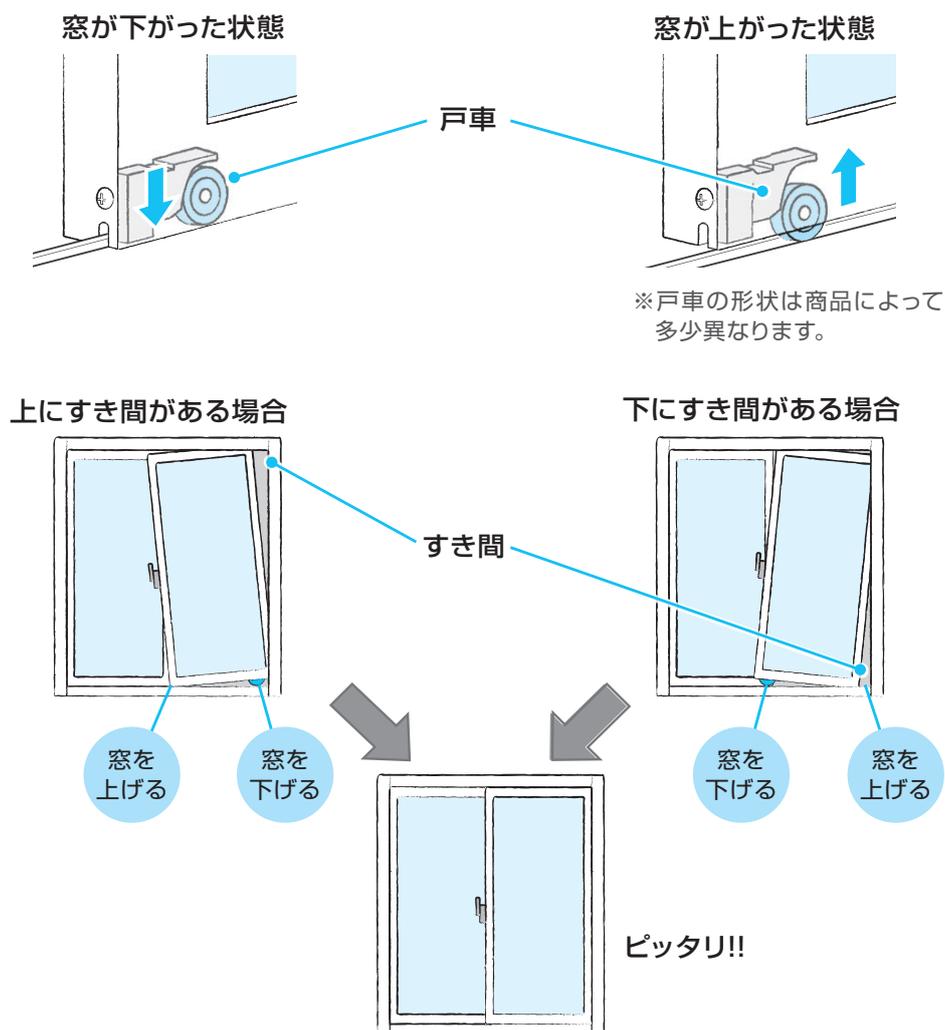


戸車とは

各窓の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整することで窓の高さが変わり、傾きを調整することができます。窓がピッタリ閉まらないときは、戸車調整を行ってください。

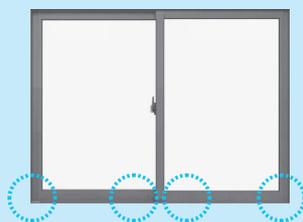
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



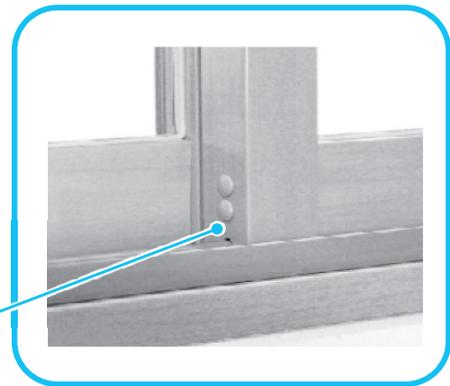
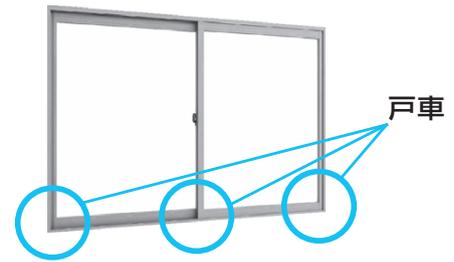
戸車は、窓の下両端にあります。

引違い窓



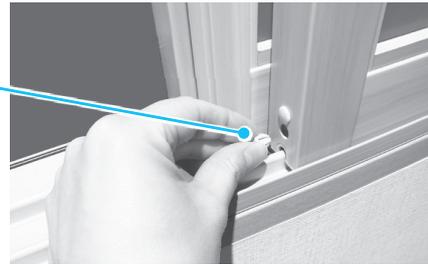
戸車の調整方法

戸車の調整ネジの位置や形状などは、商品によって異なる場合があります。
ここでは、窓タイプを例に説明します。



1 ネジ穴キャップをはずす

ネジ穴キャップ



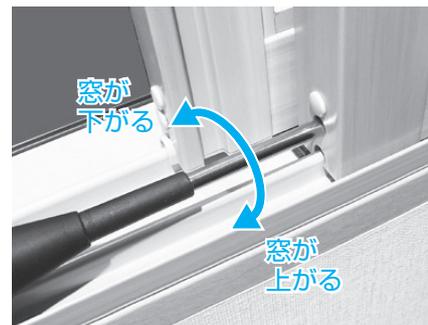
2 戸車を調整する

プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車を調整します。

※戸車を調整すると窓の高さがかわります。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



FIX窓

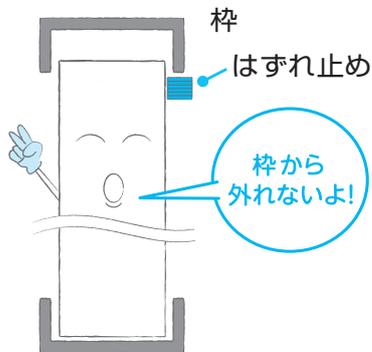
はずれ止めとは

はずれ止めは、窓が持ち上がって脱落、落下するのを防止するための部品です。
窓をはずす時以外は、絶対にはずれ止めを取りはずさないでください。

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

はずれ止めがセットされた状態



はずれ止めが解除された状態

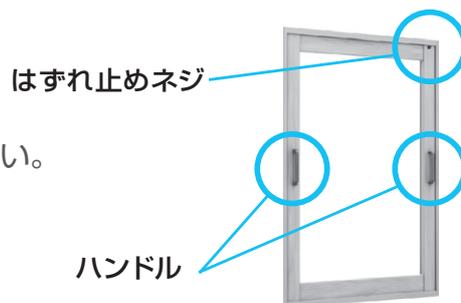


はずれ止めは、窓の右上部にあります。



窓の取りはずし方

清掃などで窓を取りはずす際は、下記を参照してください。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

⚠注意

- ガラスの入った窓は重量があります。窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

1 はずれ止めを取りはずす

はずれ止めネジを反時計回りにまわしてはずします。

- はずしたはずれ止めネジは、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。



はずれ止めネジ

2 窓を持ち上げる

ハンドルを持って窓を垂直に持ち上げます。

ハンドル



3 窓を取りはずす

窓の下部を手前に引いてはずします。

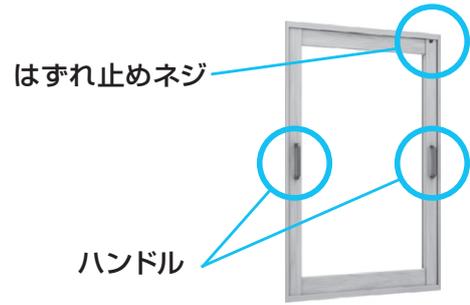
お願い

- 取りはずした窓は、養生された場所に静かに置いてください。乱暴に扱っていると、窓が破損するおそれがあります。



窓の取り付け方

窓を取り付ける際は、下記を参照してください。



ご使用前に確認してください

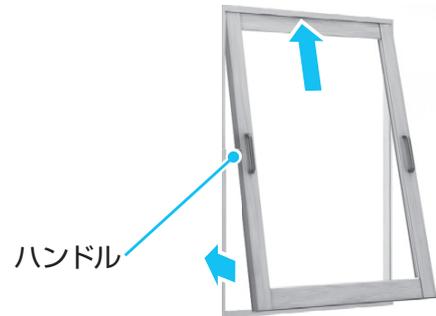
- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

⚠注意

- ガラスの入った窓は重量があります。
窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。
窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
＜窓重量の例＞
例1) 幅750mm、高さ1500mm、ガラス厚3mm単板ガラスの場合：約10kg
例2) 幅1500mm、高さ1800mm、「3+A12+3mm」の
複層ガラスの場合：約40kg

1 窓をはめ込む

ハンドルを持ち、窓の上部を窓枠に押し上げながら下部を外側に押し込みます。

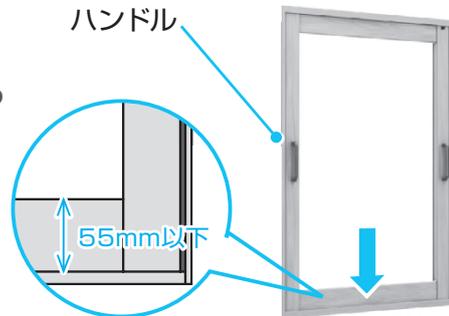


2 窓をはめ込む

ハンドルを持ち、窓を垂直に押し下げしっかり枠にはめ込みます。

⚠注意

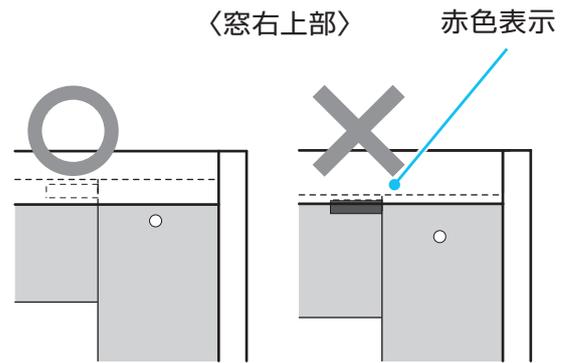
- 窓の下部の見え方が、55mm以下になっていることを確認してください。55mm以下になっていないと、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



3 赤色表示が見えないことを確認する

⚠ 注意

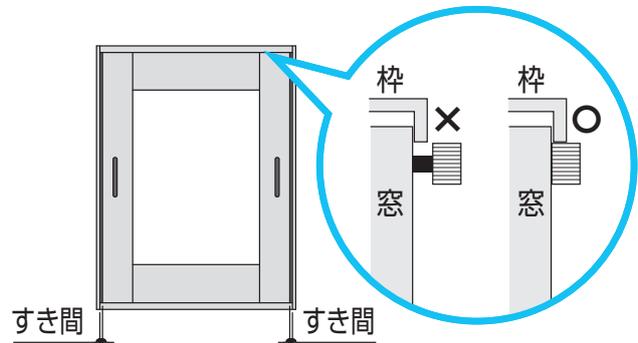
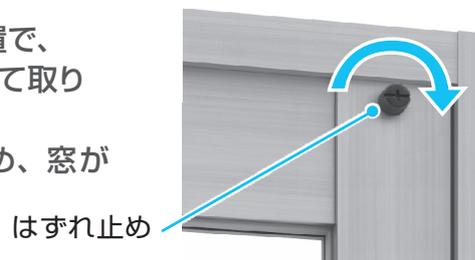
- 赤色表示が見えないことを確認してください。赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。(点検方法は →P.66を参照してください)



4 はずれ止めネジを取り付ける

窓の左右のすき間が均等になる位置で、はずれ止めネジを時計回りにまわして取り付けます。

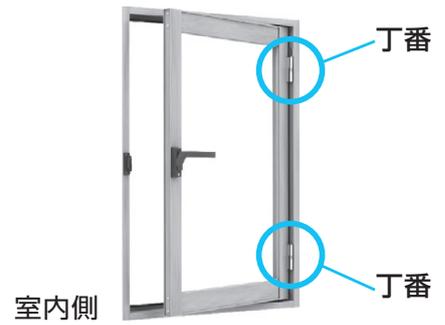
はずれ止めは根元までしっかりしめ、窓がはずれないことを確認します。



内開き窓

建付け調整方法

窓が枠などにぶつかる場合は、建付け調整をしてください。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

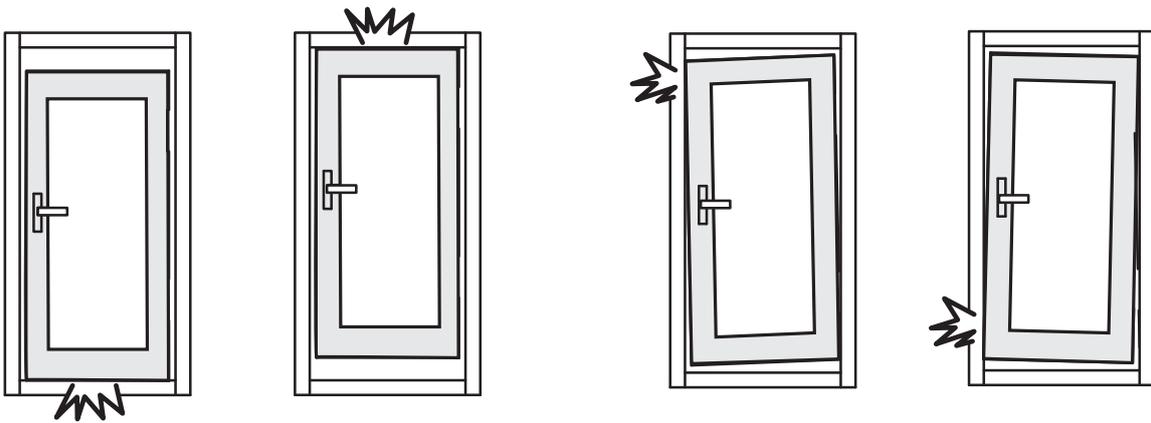
■建付け調整の種類

- 上下の枠にぶつかる場合

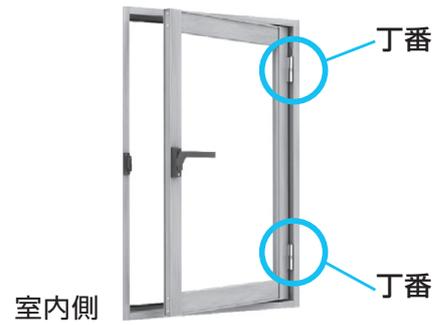
→P.50 「上下の調整」

- 左右の枠にぶつかる場合

→P.51 「左右の調整」



上下の調整



1 窓の高さを調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわしてドアの高さを調整します。

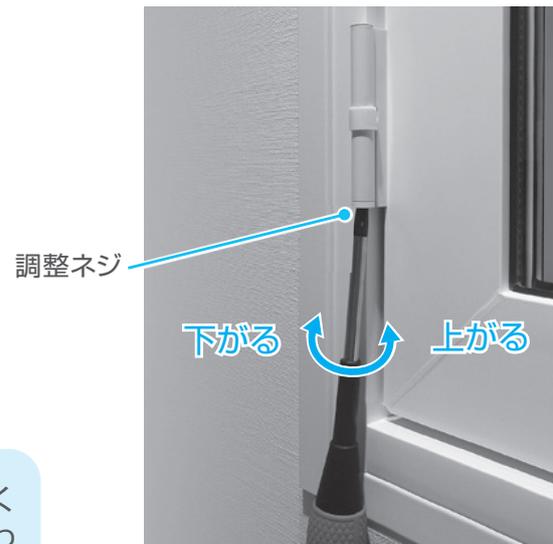
- ・右回りで上がります。
- ・左回りで下がります。

※調整範囲は±2.5mmです。

上下のネジを均等に、1/4回転(90°)ずつまわして調整してください

⚠注意

- 調整ネジは絶対にはずさないでください。窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



左右の調整



お願い

- 上下の丁番を調整してください。
片方のみ調整すると、窓が斜めになり、窓の開閉に不具合が起こるおそれがあります。

1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーを反時計回りにまわして固定ネジ（4箇所）をゆるめます。

⚠ 注意

- 固定ネジは絶対にはずさないでください。窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

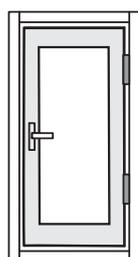


2 窓の傾き（左右）を調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわして窓の傾き（左右）を調整します。

- ・ 時計回りで吊元側へ移動します。
- ・ 反時計回りで戸先側へ移動します。

戸先側



吊元側



3 固定ネジをしめる

プラスドライバーを時計回りにまわして固定ネジ（4箇所）をしめます。

⚠ 注意

- 調整後は、すべての固定ネジを確実にしめてください。固定ネジがしまっていないと、丁番が破損したり、窓が脱落したりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



カムラッチ受けの調整方法

カムラッチハンドルのかかりがわるい場合は、カムラッチ受けの位置を調整してください。



カムラッチ受け

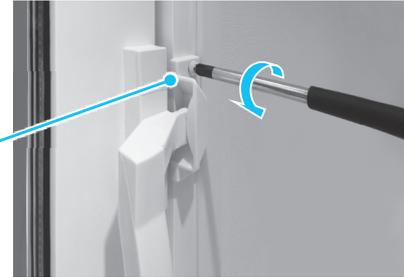
1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーを反時計回りにまわして固定ネジをゆるめます。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。

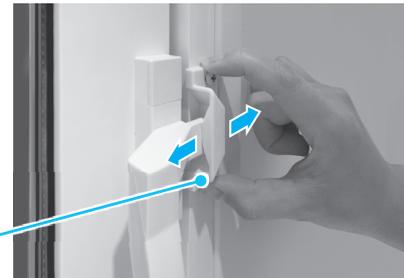
固定ネジ



2 カムラッチ受けの位置を調整する

カムラッチ受けを左右に動かして位置を調整します。

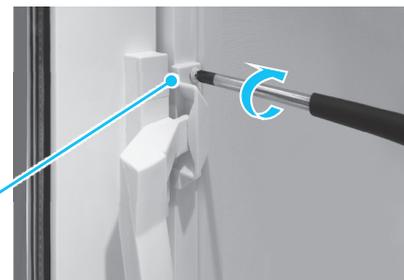
カムラッチ受け



3 固定ネジをしめる

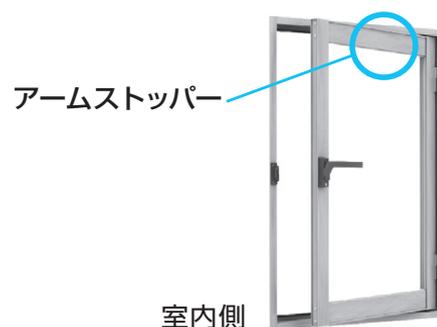
プラスドライバーを時計回りにまわして固定ネジをしめます。

固定ネジ



アームストッパーの調整方法

窓の開閉が重すぎたり、軽すぎたりする場合は、アームストッパーを調整してください。



ご使用前に確認してください

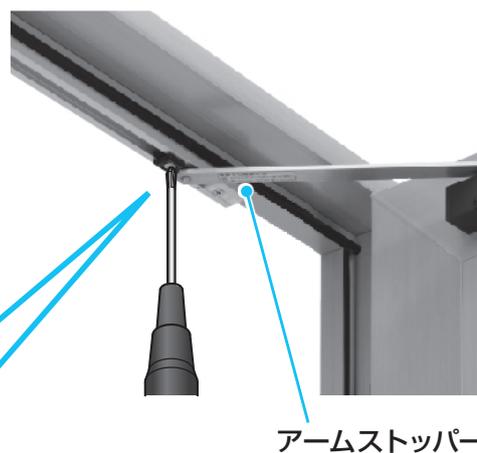
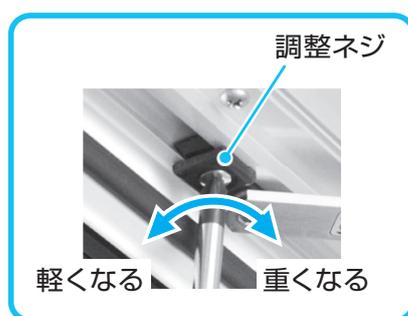
- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 窓を開ける

2 調整ネジをまわす

プラスドライバーでアームストッパーの調整ネジをまわして開閉の重さを調整します。
(窓を開閉する際少し抵抗を感じる程度)

- ・時計回りにまわすと重くなります。
- ・反時計回りにまわすと軽くなります。



開き窓テラス

ラッチ受けの調整方法

窓が閉まりにくかったり、閉めたときにガタつく場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。

ラッチ受け

室内側



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 窓を開けて固定する

2 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーを反時計回りにまわして固定ネジをゆるめます。

固定ネジ



3 ラッチ受けの位置を調整をする

ラッチ受けの調整部を動かして、扉が戸当りヒレに当たるよう調整します。

窓が閉まりにくい場合は、窓が開く方向に移動し、窓がガタつく場合は、窓が閉まる方向に移動します。

※調整範囲は±2.5mmです。

戸当りヒレ

調整部



4 固定ネジをしめる

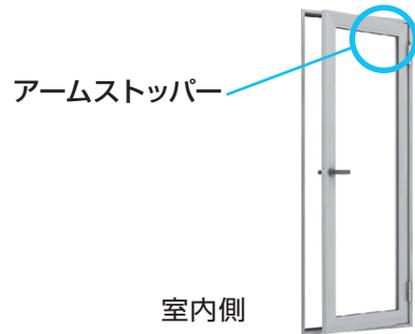
プラスドライバーを時計回りにまわして固定ネジをしめます。

固定ネジ



アームストッパーの調整方法

窓の開閉が重すぎたり、軽すぎたりする場合は、アームストッパーを調整してください。



ご使用前に確認してください

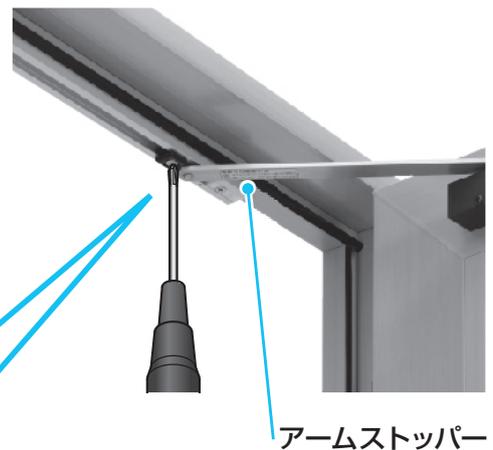
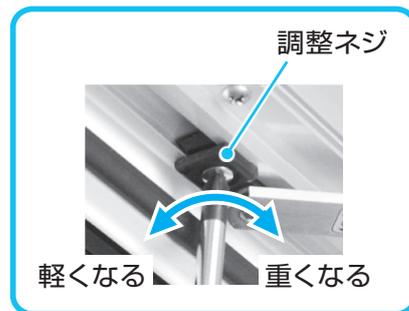
- 必ず、P.3「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 窓を開ける

2 調整ネジをまわす

プラスドライバーでアームストッパーの調整ネジをまわして開閉の重さを調整します。
(窓を開閉する際少し抵抗を感じる程度)

- ・時計回りにまわすと重くなります。
- ・反時計回りにまわすと軽くなります。



《メモ》

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 20 lines.

第5章 困った時には

この章では、商品が正常に動かない時の原因と対処方法について説明しています。

窓

引違い窓	P.58
FIX 窓	P.60
内開き窓・開き窓テラス	P.61

引違い窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
クレセントがかかりにくい。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。 取り付けネジがゆるんでいる。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.37 P.39
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.44
	窓が閉まりきっていないため、クレセントの空掛け防止機能が働いている。	窓を閉め直し、しっかり閉めきってからクレセントをかけてください	
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。	
戸先錠がかかりにくい。	戸先錠と戸先錠受けの位置が合っていない。	戸先錠の調整をしてください。	P.41
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.44
	窓が閉まりきっていないため、戸先錠が戸先錠受けに届いていない。	窓を閉め直し、しっかり閉めきってから戸先錠をかけてください	
	戸先錠が動かない、または戸先錠受けが曲がっている	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。	
窓の開け閉めがスムーズにできない。	はずれ止め部品の固定ネジがゆるんでいる。	はずれ止め部品の固定ネジをしめてください。	P.36
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。	P.31
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。	
	経年劣化により、気密材にねじれや縮みが生じている。		
	枠と窓の部品(下部摺動片、気密材)にこすれがある。		
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。		
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
窓をロックした状態で窓がガタガタする。	戸先錠の場合、ロックした状態でも多少窓のガタツキがあります。	窓の不具合によるものではありません。ガタツキが大きい場合は戸先錠の調整をしてください。	P.41
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.37 P.39
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。	
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。		
経年劣化により、下部摺動片、気密材、戸当り（開閉時に窓が当たる枠）などが破損している。			
窓をロックした状態で窓と枠にすき間がある。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。	P.44
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。	P.37 P.39
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に修理依頼をしてください。	
赤色表示が見える。 	開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっている。	上枠と窓のかかり寸法が少ないまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。窓の使用をやめ、施錠状態にしたうえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。	

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00 (日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

 0120-20-4134

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
<p>赤色表示が見える。</p> 	<p>開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっている。</p>	<p>上枠と窓のかかり寸法が少ないまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。窓を取りはずした(P.46)うえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。</p>	

内開き窓・開き窓テラス

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
窓を開け閉めすると、枠にこすれる、または当たる。	地震・地盤沈下などにより建物が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に修理依頼をしてください。	
窓の開閉ができなくなった。	丁番が破損している。		
窓を開け閉めすると、きしみ音などの異音がする。	丁番が経年劣化によりすりへっている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。	
窓開閉時のストップ位置が違う。	アームストッパーのネジがゆるんでいる。	アームストッパーを調整してください。	P.53 P.55
窓の開閉が重いまたは軽い	アームストッパーのゆるみまたはしめすぎ		

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00 (日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)  0120-20-4134

《メモ》

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

第6章 保守点検

この章では、定期的に点検していただきたい点について説明しています。

お手入れ・点検のポイント	P.64
保守点検項目	P.66

お手入れ・点検のポイント

お住まいの窓・ドアを「より快適に」「より長く」

- 日頃からこまめなおそうじ 窓の下枠レールにゴミ・異物があると、性能低下、異音発生の原因となります。
レールなどの掃除は定期的に行いましょう！

<経年別 お手入れ・点検の目安>

ご使用の条件や環境によっても違ってきます。お手入れ・点検の目安にしてください。
お手入れ・調整については、本書をご確認ください。

部位	経年	日頃のお手入れ・点検	5年目	
			【性能を保持するために】	
引違い窓		S 赤色表示が見えないか確認しましょう 下枠レールの清掃を行いましょう クレセント、戸先錠のしまりを確認しましょう	S 戸車（建付）調整	
FIX窓		S 赤色表示が見えないか確認しましょう	S 部品の作動確認	
内開き窓 開き窓テラス		S 開閉がスムーズか確認しましょう (※)ハンドルなどの付属品にガタつきがないか確認しましょう	S 丁番・ヒンジ（建付）調整	

↓↓↓↓↓ 定期的なお手入れ・点検について

定期お手入れ・点検メニュー	スタンダード点検
点検時期（目安）	築5～7年
点検サービス内容	部品確認、調整

定期点検に関するお電話でのお問い合わせは

メンテナンスセンター

受付時間 月～土 9:00～17:00
(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

 0120-38-1134

ご使用いただくための、お手入れ・点検のポイント

■定期的なお手入れ・点検 長期間使用していると、いろいろな不具合が発生します。
定期的にお手入れ・点検を行いましょう！

- S セルフチェック
- ★ お取り扱いの建築会社、工務店、販売店もしくは当社へご依頼ください。

(※) は、物損、人身事故を防止するため必ず点検をお願いします。

定期的なお手入れ・点検			
7年目	10年目	13年目以上	
【安全配慮・性能を保持するために】			
★ (※) 戸車交換推奨 (よく使用する窓)		★ (※) 戸車交換時期	→
★ (※) 開閉調整確認推奨 (よく使用する窓)		★ (※) 部品交換時期	→

ご自身で実施できない場合は、当社にご用命下さい。↓↓↓↓↓

	フル点検
	築10年以上
(使用頻度の高い窓)	部品確認、調整 (全ての窓)

部品購入、定期点検に関するお申し込みは



部品 オンラインショップ
Parts SHOP

(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)

保守点検項目

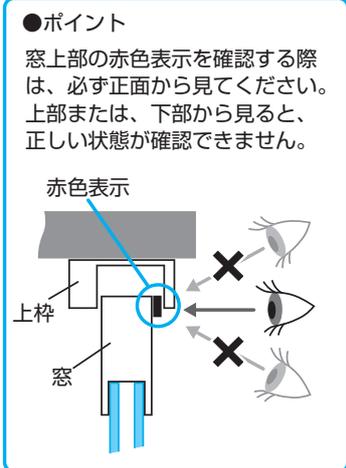
長期間、商品を使用していると、いろいろな不具合が発生します。

そのまま使い続けると、人身事故や家財の損害などの原因になるため、お掃除の際など、日常的に保守点検を行ってください。

下記は、点検していただきたい項目です。

窓の点検項目

点検項目	窓	点検箇所	参照・連絡先
ネジがゆるんでいないか？	引違い窓	クレセントネジ	P.37「クレセントの調整方法」
		クレセント受けネジ	P.39「クレセント受けの調整方法」
		戸先錠ネジ	P.41「戸先錠の調整方法 (窓・テラスタイプ共通)」
		戸車調整ネジ	P.44「戸車の調整方法」
		はずれ止め (上部) ネジ	P.35「窓の取り付け方」
	FIX窓	はずれ止め	P.47「窓の取り付け方」
	内開き窓	カムラッチ受け取り付けネジ	P.52「カムラッチ受けの調整方法」
開き窓テラス	丁番取り付けネジ	P.49「建付け調整方法」	
室内から見て赤色表示が見えていないか？	引違い窓	窓上部 (赤色表示)	赤色表示が見える場合、開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっていることが考えられます。そのまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。窓の使用をやめ、施錠状態にしたうえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。
	FIX窓		



第7章 保証について

この章では、商品の保証について説明しています。

商品の保証について	P.68
複層ガラスの保証について	P.70

商品の保証について

商品保証とは当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室（→ ☎ 0120-20-4134）に修理をご依頼ください。

●対象商品

- 一般住宅用内窓商品

●保証期間

建築会社よりの引き渡し日（注）から2年間（電装部品については1年間）。

（注）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

●保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する“免責事項”を除き無料修理いたします。

* お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は当社お客様相談室にお問い合わせください。

* この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをご知らせください。

- (1) 商品名
- (2) 商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
- (3) お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
- (4) 工務店、建築会社名など
- (5) 破損箇所や不具合状態

●免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- (1) 当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合
（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- (2) 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- (3) 建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
（例：商品を取り付けている建物の柱などが変形すること等により発生する不具合）
- (4) 商品の日常の使用、機能に影響を及ぼさない部材、部品の経年変化や経年劣化
（例：商品使用期間経過に伴う消耗、磨耗、キズ、褪せ、さび、かびなど）
- (5) 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合
（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温、低温、多湿による不具合など）
- (6) 商品または部品の材料特性に伴う現象
（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
- (7) 天災その他の不可抗力またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
（例：暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）

- (8) 通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、商品発売時点で実用化されている技術では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
- (9) 小動物や虫などの害による不具合
(例：犬、猫、鳥、ねずみなどの噛みキズ、引掻きキズ等により発生する不具合)
- (10) 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例：日常のお手入れを行わないこと等により発生する不具合)
- (11) お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
(例：複層ガラス表面に図柄等を含む有色のフィルムやポスターを貼ることや塗料を塗ること等により発生する不具合)
- (12) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- (13) 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
(例：窃盗を目的に家に入るため商品を破壊すること等により発生する不具合)

●補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。ただし、商品販売終了後10年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。補修用部品に関してご不明の点がございましたら、当社お客様相談室にお問い合わせください。

複層ガラスの保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。建築会社よりの引き渡し日（注）を保証開始日とした保証期間中に保証性能項目に関する不具合が生じた場合には、まず、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室（☎ 0120-20-4134）にご相談ください。

（注）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は建築主様への引き渡し日になります。

●複層ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 (保証期間内でも、次のような場合には有料となります)
Low-E複層ガラス 複層ガラス アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ブラインド入複層ガラス	複層ガラスの内部結露（ガラスとガラスの間の中空層内部での結露）が発生しないこと	10年	<ul style="list-style-type: none"> ・複層ガラスを構成する板ガラスに亀裂または破損が生じている場合 ・海拔1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・垂直以外でのご使用の場合
アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ブラインド入複層ガラス	アタッチメント・格子・ブラインドの変色が目立たないこと	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合*
ブラインド入複層ガラス	内部ブラインドの開閉に不具合がないこと	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・垂直以外でのご使用の場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・海拔1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合*

*商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、および製造年月等を確認いたします。

●熱処理ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 (保証期間内でも、次のような場合には有料となります)
強化ガラス 耐熱強化ガラス	自然破損しないこと※1)	10年	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な強度検討がなされずに破損した場合 ・ガラス表面についたキズが成長して破損した場合 ・特に強い外力の衝撃が加わった場合 ・破損したガラス片を回収、調査した結果、破損原因となる不純物が検出されなかった場合 ・ガラスが脱落しにくい施工方法や強化合わせガラスを採用するなど破損落下、飛散防止の対応を講じていないことにより発生した人体および器物への損害賠償 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※2)

※1) 自然破損とはガラス中に存在する不純物による、外から力が加わっていない状態での不意の破損を指します。

現在の技術では自然破損をなくすることができないことをご理解ください。

※2) 商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、および製造年月等を確認いたします。

●複層ガラス商品共通の免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- (1) 当社標準施工法および取り扱い上、設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項が守られなかったことに起因する不具合
- (2) 使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合
(ガラス表面にフィルムやポスター等を貼ることや、塗料を塗ることなどを含みます)
- (3) 火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合
- (4) 事前のお打ち合わせで商品保証の対象外であることをご了承いただいている場合
- (5) 実用化された技術では予測困難な現象に起因する不具合
- (6) 熱割れなどのガラスの破損
- (7) 板硝子協会・(一社)日本サッシ協会発行『複層ガラス・単板ガラスサッシの取り扱いに関する仕様基準と解説』に準拠されていなかった場合

●保証内容

保証性能項目に関する不具合が発生した場合は、免責事項に該当する場合を除き、代替品（不具合が生じた当社製複層ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種）を無料交換いたします。

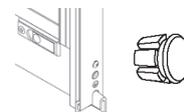
- * 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問い合わせください。
- * この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをご知らせください。

- (1) 商品名
- (2) 商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
- (3) お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
- (4) 工務店、建築会社名など
- (5) 破損箇所や不具合状態

用語集

アームストッパー	窓が一定の角度以上開かないように制限する部品。窓の開閉力を調整できる。
カムラッチハンドル	タテまたはヨコにまわして使用する、持ち手とカギを兼ね備えたハンドル。
クレセント	引違い窓についている窓の一般的な主錠
クレセント受け	引違い窓の室外側窓についている、クレセントの先端が引っかかる部分
戸車	開け閉めをスムーズに行うために、引違い窓の下部左右についているローラー部品。
戸先錠	引違い窓の引手部分についているタイプのカギ（主錠）
ネジ穴キャップ	窓を組み立てる際に使ったネジ穴を隠すための樹脂製のカバー
はずれ止め	強風や衝撃などによって窓が枠からはずれることを防ぐための部品。



索引

【あ行】

アームストッパー……………
……………P.23, P.26, P.53, P.55, P.72
内開き窓…………… P.23, P.49, P.61
お手入れ…………… P.29, P.31, P.64

【か行】

カムラッチ受け…………… P.52
カムラッチハンドル…………… P.23, P.72
クレセント…………… P.16, P.17, P.37, P.72
クレセント受け…………… P.39, P.72
困った時には…………… P.57

【さ行】

商品の保証…………… P.68

【た行】

戸車…………… P.43, P.44, P.72
戸先錠…………… P.16, P.19, P.21, P.41, P.72

【な行】

ネジ穴キャップ…………… P.44, P.72

【は行】

はずれ止め…………… P.33, P.34, P.45, P.72
引違い窓…………… P.16, P.33, P.58
開き窓テラス…………… P.26, P.54, P.61
FIX 窓…………… P.45, P.60
保守点検…………… P.63, P.66

【ま行】

窓の種類…………… P.14
窓の調整
 内開き窓 P.49, P.50, P.51, P.52, P.53
 引違い窓…………… P.37, P.39, P.41, P.44
 開き窓テラス…………… P.54, P.55
窓の取り付け
 引違い窓…………… P.35
 FIX 窓…………… P.47
窓の取りはずし
 引違い窓…………… P.34
 FIX 窓…………… P.46

【や行】

用語集…………… P.72

【ら行】

ラッチ…………… P.27
ラッチ受け…………… P.54
レバーハンドル…………… P.26, P.27

《メモ》

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

- ・本書の読み方
- ・もくじ

- ・安全上のご注意
- ・ご使用にあたって
- ・知っていただきたい現象とその対策

1

- ・商品の種類を調べる方法

2

- ・窓の開閉方法
- ・ロック部品の操作方法

3

- ・窓の調整方法
- ・窓のお手入れ方法

4

- ・困った時には

5

- ・お手入れ・点検のポイント
- ・保守点検項目

6

- ・商品の保証について
- ・複層ガラスの保証について

7

- ・用語集
- ・索引

お客様メモ

■お問い合わせなどのために、記入しておくとう便利です。

お引き渡し日 (または入居日)	年 月 日
工務店・ 建築会社	社名 ----- TEL - -
販売店	社名 ----- TEL - -
商品名	

長期間、商品をご使用になりますと、ネジのゆるみ、ガタつきなどの不具合が発生することがあります。

そのままにしておきますと人身事故や、家財の損害などの原因となります。

対処方法が本書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

YKK AP株式会社

●表示内容は2021年9月現在のものです。

ホームページ www.ykkap.co.jp/

商品に関するご相談、お問い合わせは
お客様相談室

受付時間 月～土 9:00～17:00

(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

 0120-20-4134

●お問い合わせ、ご用命は……

G K 1 6 - 0 0 3 - 7



発行/2021年9月(7版) Printed in Japan

No. XAAAG-K16-003-7